

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		施設整備事業				担当課	水道工務課	担当係	施設係	管理番号	42211	
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち				事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
	中項目	1 都市整備の行き届いたまちづくり				根拠法令 個別計画等	水道法 深谷市水道事業地域水道ビジョン 深谷市水道事業基本計画					
	小項目	2 水の安定供給と下水処理の適正化										
	主要プロジェクト											
事業概要		水道事業には常に安定的な水道水の供給が求められている。平常時はもとより、災害時における水道施設の機能を維持するため、老朽化の進んだ水道施設や耐震性の低い水道施設を計画的に改修し、日常の維持管理を実施するものである。令和5年度に策定した「深谷市水道事業基本計画」（長期整備計画）（令和7年度～令和12年度）に基づいた各施設の整備・更新工事等を進めている。										
目的 ※何のために		安全で安心な水道水を安定的に供給するとともに災害に強い水道施設づくりを推進するため。										
対象 ※誰・何を対象に		耐震性の低い浄水場及び配水場の主要設備や水源である井戸設備。										
手段 ※どのように		日常の維持管理や耐用年数を超過した電気・機械設備の更新、耐震性の低い土木構造物の耐震補強・更新を行う。また、水源である井戸の定期的な補修及び改修を行う。										
成果 ※何を求めるか		浄水場・配水場及び関連する施設の機能を強化することで、水道水の安定的な供給を継続させる。										
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()										
事務事業を構成する予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)				
本事業の主な業務		・ 前小屋・前川原浄水場の統廃合					・					
		・ 本田配水場の拡張					・					
		・ 水源設備の機能維持					・					
		・ 浄配水場の定期的な機器更新・修繕					・					
		・ 浄配水場運転管理業務					・					
		・					・					

2. 事業費（投入コスト）

※令和7年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		血沼浄水場更新工事 花園配水場更新工事 浄水場運転管理	血沼浄水場更新工事 花園配水場更新工事 浄水場運転管理	血沼浄水場更新工事 花園配水場更新工事 浄水場統廃合 浄水場運転管理	R7年度から事業開始 小山川橋配水管工事 前川原配管、水源設計 本田配水場拡張工事	前小屋配管布設、水源整備工事 前川原配管・水源設計 本田配水場拡張工事	
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）	3.40	2.90	2.90	2.90	2.90	
	人件費相当試算※	26,756,494	23,229,479	23,844,499	24,583,573	25,544,618	
	総事業費試算	26,756,494	23,229,479	23,844,499	24,583,573	25,544,618	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	浄水場・配水場施設数	目標値	施設						
		実績値		10.00	10.00	10.00	10.00	9.00	9
	目標値の算定根拠/実績値の出所		浄水場・配水場施設数						
	実績値の算出式			10	10	10	10		
成果指標 1	事業進捗率	目標値	%	95.00	98.00	100.00	14.60	42.90	70.80
		実績値		82.10	84.10	85.90	12.60		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全体事業費の執行 / 執行済事業費／全体事業費						
	実績値の算出式								
成果指標 2	配水池耐震化率	目標値	%	70.00	70.00	70.00	83.00	83.00	83.00
		実績値		70.00	70.00	70.00	83.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		耐震化済配水池の割合を目標値 / 耐震化済配水池容量／全配水池容						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	各施設の適切な維持及び運転管理を行い、突発的な設備故障や異常事態に対しても適切に対応できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	事業進捗率は事業費ベースでは目標に達していないが、これは入札による事業費削減が実現したためであり、整備計画に基づく令和7年度の全ての予定事業については発注が完了している。また、配水池の耐震化率については、令和7年1月に策定した「深谷市上下水道耐震化計画」における基準への見直しにより数値に変化が生じたが、目標は達成しており、計画に沿った工事の進捗が図られている。
			評価者 施設係長 飯塚 佳樹

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各施設の管理業務については複数年契約での外部委託とすることで民間事業者の豊富な経験や専門知識、創意工夫を有効利用し、事務及びコスト面で効率化が図られている。
			評価者 施設係長 飯塚 佳樹